



1年間ありがとうございました！！ ～こんなに大きくなりました★～

4月から2月までの成長記録★

ありがとう

ひよこぐみ



いすぐみ



うさぎぐみ



くまぐみ



ひよこ(0歳児)

先月は、綿やお花紙などいろいろな素材を使った製作を楽しみました。製作が完成し、お部屋に飾ると子どもたちは興味津々で、指差しをし「あ！」と反応したりと嬉しそうな顔を見せてくれました。衣服の着脱や食事の際に口拭きタオルで手や口を拭いたり、身の回りのことに興味を持ち始め、保育士と一緒にやってみたり自分でしてみようとする姿が更に増えてきました。出来た時は、保育士とハイタッチや拍手をし、子どもたち自身も楽しみながら行っています。

今年一年、保護者の皆様には沢山のご理解とご協力を頂きましてありがとうございました。残りの日々も子どもたちと楽しく過ごしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

大谷 朱音



りす(1歳児)

暦の上では春を迎え、厳しい寒さもやっと終わりが近づいてきたようです。りす組の子どもたちは大好きな戸外で園庭を広く使って身体を動かしたり、お雛様製作ではティッシュの上からタンポを押し、絵の具がにじむ様子に夢中になってみていましたよ！また活動を楽しむ中で言葉での表現が日に日に増え、保育士に「こうしたい！」と自分の思いを伝えたり、「一緒にしようよ」と子どもたち同士でやり取りをする姿が見られるようになりました。

3月はりす組最後の月、うさぎ組への進級に向けての準備が少しずつ始まります！新しい環境や担任以外の保育士に混乱したり、不安にならないよう子どもたち一人ひとりのペースに合わせ、気持ちに寄り添い、残り少ない日々を楽しめるよう配慮してゆきます。

岡垣 知紗希



うさぎ(2歳児)

2月は上靴とパジャマを新しく取り入れました。始める前から上靴を履く事を心待ちにしていた子どもたち。初めは履き方が難しかったり、上靴を使用する上での約束事に戸惑ったりもしていましたが、それでも保育士や友だちがしているのを見て、自分でもやってみよう模倣し頑張る姿に成長を感じました。また、むっくりまさんやいす取りゲームなど集団あそびを多く取り入れたことによりルールの遊びが大好きになりました。今月からまた新しく取り入れ「みんなで遊ぶ楽しさ」を感じられるようにしたり、様子を見ながらルールを増やすなどして楽しめるよう工夫し、保育を進めます。また戸外では、季節の変化に気付くよう自然探索や大縄跳びでへびジャンプをする等して身体を思い切り動かし、次年度へ向けて身体作り出来るよう計画しています。

いよいよ幼児クラスに向け、より一層身も心も大きく成長する姿を楽しみにしています。

中村 美穂



くま(3歳児)

2月といえば・・・節分！！保育室に赤鬼が乱入してきましたので、少し怖がりながらも勇気を出して制作で作った豆ボールを投げたり、相撲で勝負をして見事に撃退しました。ルールのある集団あそび(ゲーム)も、少しルールを変えたり新しいものを覚えたりして遊びの幅を広げながら楽しんでいきます。

3月は、今の子どもたちの成長を確かめつつ、来年度の進級を見据えて活動を行ってゆきます。遊びだけでなく生活面においても、自分で出来ることは自らしようとする意欲を持って、友だちと一緒に助けあったり楽しんだりしながら、「ぞう組」のお姉ちゃん・お兄ちゃんになっていくことを目指してゆきます。

春はもうすぐですので・・・寒さや病気にも負けることなく保護者の皆様と一緒に子どもたちの成長を見守ってゆきます！

向井 洋



ぞう(4歳児)

2月になり、子どもたちは節分間近になると緊張していましたが、いざ鬼を目の前にすると正義感に満ち溢れ、鬼をやっつけて楽しんでいました。また、来月のひな祭りに向けて紙芝居を見たり、制作をすることで、興味を持ちはじめ、ひな人形を見にホールへ行ったり「うれしいひなまつり」を歌い3月3日を楽しみにしている様子です。

まだまだ寒い日が続いていますが、子どもたちは園庭へ出て元気いっぱい身体を動かしています。鬼ごっこが一番大好きで毎日遊んでいます。新たに大縄跳びや縄跳びに少しずつ挑戦しています。今のきりん組さんに憧れを持っているようです！！

今月は、2月に出来なかったクッキングやきりん組の卒園を祝って見送ったり、進級に向けて準備をしりと盛りだくさんです。

最年長になることを楽しみにしつつ、小さいクラスのお手本という意識が持てるようになってゆきます。

池田 美代



きりん(5歳児)

2月は登園が少なかったため、少人数で穏やかに過ごしました。ゆっくり関わられる時間がたくさん持てたこともあり、保育士と一緒にカードゲームやボードゲーム等、少し複雑なルールの遊びを楽しみました。また、新たに竹馬にも挑戦し、なかなかバランスが取れず苦労しながらも、友だちと支え合って繰り返し練習する姿がありました。

いよいよ、保育園生活も終盤を迎えます。卒園の喜びを受け止めると共に、楽しい思い出、嬉しかった思い出を振り返りながら、身近な人への「感謝」の気持ちを高められるよう支えてゆきます。子どもたちなりの「ありがとう」をたくさん引き出し、その思いを伝えられる3月にしたいと考えています。

春からの新生活がより良い刺激になるよう、今ある姿に自信を持ち、少しでも進学への期待が高まってくれることを願います。

山田 実咲

